

九本師範らの歌声響く 老人ホームで民謡ショー



自慢ののどを披露する出演者

介護付き有料老人ホーム「シルバーシティ十勝おびひろ」で、北海道民謡連盟最高師範の九本栄一さん

(幕別)と札幌民謡友の会(遠藤信志会長)による「秋の豊穠民謡ショー」が開かれた。

シルバーシティ十勝おびひろ開設1周年記念事業として14日に開催。九本さんと九本さんが指導する同会の会員16人が出演した。

中川信子さんと小川紀美子さんによる「十勝小唄」で幕明け。九本さんらの三味線に合わせ、歌と舞踊で華やかにオープニングを飾った。

「江差馬子唄」「どさんこ甚句」「南部牛追唄」など会員が次々と歌い、九本さんは「都々逸」を披露した。入居者や職員、一般客ら約60人が拍手を送った。

(澤村真理子)